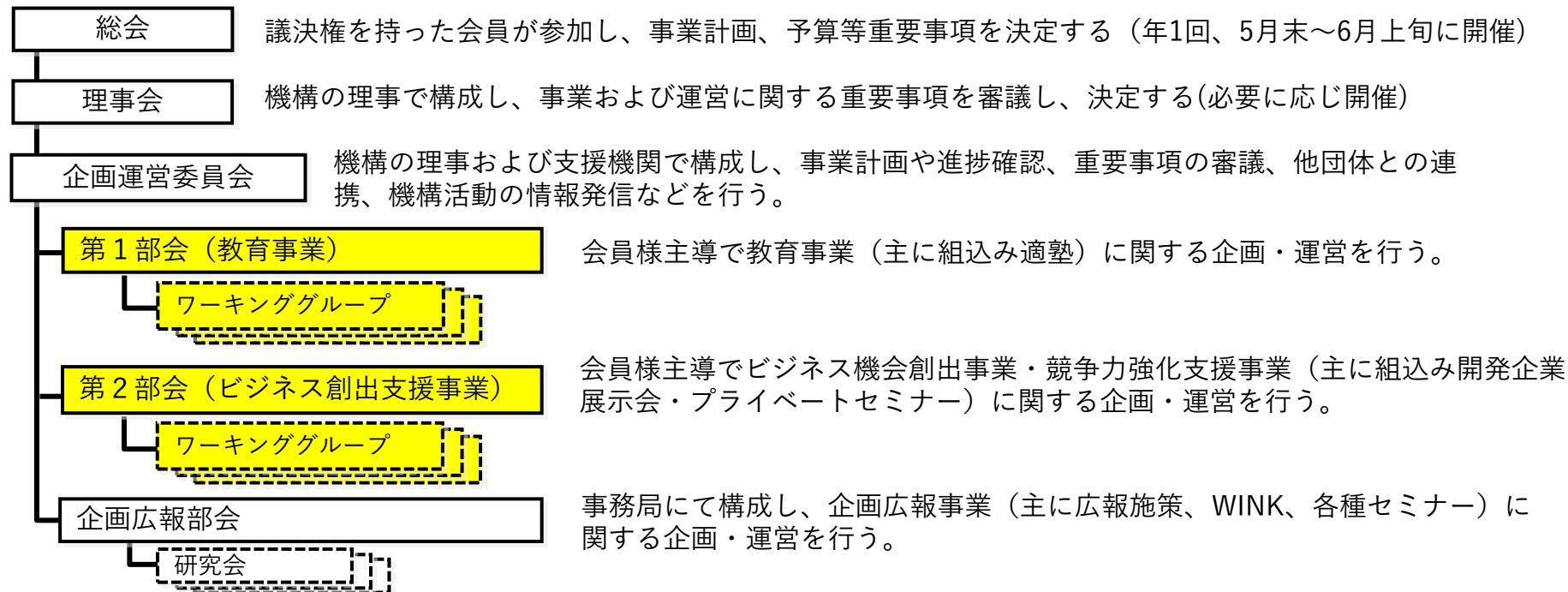


機構活動への会員参画を促進し、より多くのご意見をいただきながら、会員様にとって更に魅力的な事業とすることを目的に第1部会、第2部会は会員様主導での運営を行っております。
いずれか（両方可）の部会およびワーキンググループにご参画いただけますようご協力をお願い致します。

<運営体制>



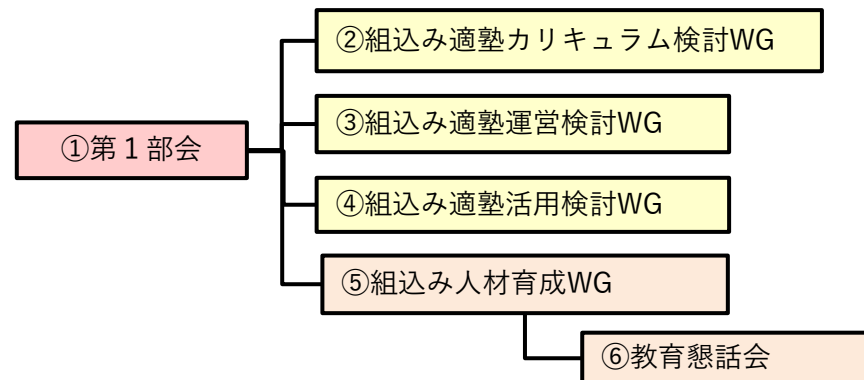
■規約からの抜粋

- （部会）第9条 企画運営委員会に、部会を設置することができる。部会は、会員をもって構成する。
- 2 部会には、委員長が選任した部会長および副部会長を置くことができる。
- 3 部会長は、部会を招集し議長を務める。
- 4 副部会長は、部会長を補佐し、部会長が不在時においてその職務を代行する。
- 5 会員は設置された全ての部会に参加できる。
- 6 部会長は、自部会での検討事項などを企画運営委員会に報告する義務を負う。

第1部会活動について

組込み人材育成事業の「組込み適塾」の運営と、組込み人材の育成について議論や情報交換をしています。ご参画いただくことで、自社の人材育成ニーズを組込み適塾のカリキュラムに反映いただいたり、他社や他団体の人材育成への取り組みに関する情報を収集いただけます。

< 第1部会運営体制 >



< 第1部会活動概要 >

名称	開催頻度	内容
	時間	
	場所	
①第1部会	適塾開催期間中を除く偶数月 (年4,5回)	教育事業（組込み適塾）に関する方向性の議論・情報共有を行う。 その他の機構の取り組みの一部についても情報共有を行う。 主な議題は以下の通り。 ・部会事業計画の検討・承認、同計画の進捗報告・確認 ・組込み適塾の実施計画の検討・承認、進捗報告・確認 ・各WGの活動報告と議論
	1.5時間	
	関経連 (オンラインも活用)	
WG活動	年3,4回 (各WGによる)	部会メンバーに関わらず、産学官の有志・有識者で構成。 第1部会参加者はいずれかのWGへの参加をお願いしている。 ②組込み適塾カリキュラム検討WG 実際の講座の参観や受講生のアンケート結果などを参考に技術トレンドと産業界のニーズを元に、次年度のカリキュラムの検討や講座内容の改善を行う。 ③組込み適塾運営検討WG 実際の講座の参観などを通じて、組込み適塾の運営に関する課題の抽出と改善を行う。 ④組込み適塾活用検討WG 会員企業の人材育成における組込み適塾の活用促進と支援、それに向けた組込み適塾の価値向上に取り組む。受講ガイドの整備、各種認証・表彰の取得など。 ⑤組込み人材育成WG 組込み人材育成に関する指針・施策の検討・提言を行う。また組込み適塾の修了生の価値向上に取り組む。 ⑥教育懇話会 会員内外から講師を招き、人材育成や教育に関する講演やパネル討論を行う。（原則、第1部会登録企業の社員の聴講も可）
	1～2時間	
	グランフロント大阪 (オンラインも活用)	

<第1部会 部会長>

木村 浩司

パーソルAVCテクノロジー株式会社 採用・人材戦略部 人材開発担当 部長

(略歴)

1992年入社以来、業務用映像機器の組込みソフトウェア開発及びマネジメントに従事。特に新プラットフォーム設計時におけるアーキテクト、ネットワーク対応などソフトウェア新機能の導入を主導し、ソフト開発からマネジメントまで幅広く手がける。開発部門のマネージャを経て、現在は自社エンジニアの育成担当として社内外で幅広く活動中。



<第1部会 副部会長>

清水 広之

三菱電機株式会社 人材開発センター 情報ソフトウェア教室 主管講師

(略歴)

1984年入社後、中央研究所にてAI/エキスパートシステム等の研究開発に従事。その後、制御製作所・名古屋製作所等にて電力/公共プラント監視制御システム、映像情報システム、FA用HMI等の開発及びマネージャを担当し、現在、三菱電機グループ内のソフトウェア人材育成に従事。



<第1部会 副部会長>

木村 浩三

パナソニック株式会社 コーポレート戦略・技術部門 技術企画室 戦略企画部
全社技術コーディネーター

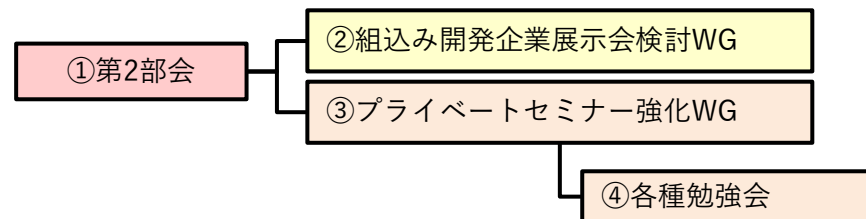
(略歴)

1984年入社以来、システムアーキテクチャやメディアプロセッサの研究と開発に従事。特に、デジタル家電機器向け統合PF "UniPhier"を立ち上げ、デジタル家電、携帯電話の開発効率を大幅に改善。近年は、IoT家電、生体センシング技術開発に携わるとともに、社内研究会主査、技術塾塾長、大学の非常勤講師やプログラム委員などの社内外の人材育成を担当。工学博士。



ビジネス創出支援事業、競争力強化支援事業である組込み開発企業展示会、プライベートセミナーに関する議論や情報交換をしています。ご参画いただくことで、自社のニーズを展示先企業の選定やプライベートセミナーのテーマ等の検討に反映いただくことができます。

<第2部会運営体制>



<第2部会活動概要>

名称	開催頻度	内容
	時間	
	場所	
①第2部会	隔月 (年6回)	主にビジネス支援事業、技術競争力強化支援事業に関する取り組みを行っている第2部会の活動に関する情報共有、検討を行う会議体。その他の機構の取り組み等についても情報共有を行う。 【計画】 ・部会事業計画の検討、承認 ・組込み開発企業展示会計画の情報共有、検討 ・プライベートセミナー計画の情報共有、検討 など 【活動報告】 ・部会活動の報告、承認 ・組込み開発企業展示会の実施報告、改善検討 ・プライベートセミナーの実施報告、改善検討 など
	1.5時間	
	関経連 (オンラインも活用)	
②組込み開発企業展示会検討WG	月1回	組込み開発企業展示会をより価値あるものにする為の検討を行うワーキング活動。 具体的には、 ・出展先候補企業の検討 ・マッチング精度向上の施策の検討 ・展示会の改善検討 など
	2時間	
	グランフロント大阪 (オンラインも活用)	
③プライベートセミナー強化WG	月1回	プライベートセミナーをより価値あるものにする為の検討、および技術競争力強化支援の施策の検討を行うワーキング活動。 具体的には、 ・プライベートセミナーのテーマの検討 ・プライベートセミナーの内容(ワークショップ、懇談会など)の検討 など
	2時間	
	グランフロント大阪 (オンラインも活用)	
④各種勉強会	不定期	IoT技術や各省庁の予算など、参加メンバーが興味のある組込みシステム産業に関する情報の調査、共有。 具体的には、 ・IoT等に関する国の政策等の定点調査 ・令和2年度各省庁の予算調査
	2時間	
	グランフロント大阪 (オンラインも活用)	

<第2部会 部会長>

加井 隆重

ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター
ZEB・エネマネグループ 産官学連携専任部長

(略歴)

1979.9ダイキン工業株式会社に入社。空調機を遠隔から監視制御する故障予知サービス、遠隔省エネサービス、電力抑制するための空調用遠隔監視制御装置、空調機遠隔監視制御センターシステムの研究開発を担当。



<第2部会 副部会長>

原村 光司

株式会社DTSインサイト 第二事業本部 第三システム事業部 事業戦略アドバイザー

(略歴)

1991年 株式会社データ通信システム（現株式会社DTS）に入社。アナログ有線通信の開発からデジタル無線通信の開発と通信関連の開発に従事。その後は、デジタル家電のプラットフォーム開発、医療分野、車載分野の事業の立ち上げに携わる。2017年に組込み開発専門の株式会社DTSインサイトを設立すると同時に同社に転籍。受託開発の責任者として医療系、車載系の事業を推進。現在は、あらたな事業領域の獲得に向け活動中。また、社外活動にも積極的に取り組んでいる。



<第2部会 副部会長>

岩本 康男

新日本コンピュータマネジメント株式会社 総務部 事業推進担当

(略歴)

1982年入社以来、客先常駐として、商社大型計算機オペレーション業務、薬品会社の生産管理システム開発、ポケットコンピュータ開発を経て、1996年より携帯電話ソフト開発に従事、主にシリアル通信機能を17年程従事した。その後、社内に戻り、営業部長を経て、現在、事業推進を担当し、外部団体との連携や、社会貢献（大阪市北区の区政会議委員・CSR活動）に取り組んでいる。同時に、IoTデバイスの開発などのプロジェクトにも参画し技術者としての活動も続けている。



Q：施策に参加するには、いずれかの部会への登録が必須となりますでしょうか。

A：登録いただかなくても全ての施策に参加できますが、各施策にご意見を反映いただけたら、施策の検討段階から早期に情報を入手することが可能となりますので、是非、ご登録のうえご参画をお願いいたします。一部、トライアル段階の施策等は部会への登録企業のみにご案内させていただく場合もございます。

Q：ワーキンググループへの登録は必須となりますでしょうか。

A：第1部会については、原則として部会参加者は、いずれかのワーキンググループに登録いただいておりますが、第2部会については任意となります。ワーキンググループに参画いただくことで様々なメリットもございますので、是非、ご参画をお願いします。詳しくは各部会のページを参照ください。

Q：部会やワーキンググループへの1機関からの登録・参加人数に制限はございますでしょうか。

A：以下の表を参照ください。

■部会・ワーキンググループへの登録および登録人数

	項目	第1部会	第2部会
部会	登録	いずれか（両方可）の部会に登録	
	登録人数	1機関2名まで（但し、部会長・副部会長を除く）	
ワーキンググループ	登録	部会参加者は原則としてワーキンググループにも登録	登録は任意
	登録人数	人数制限は無し ※部会登録者以外でもワーキンググループに登録可能 ※ワーキングリーダーの判断で人数を制限させて頂く場合あり	